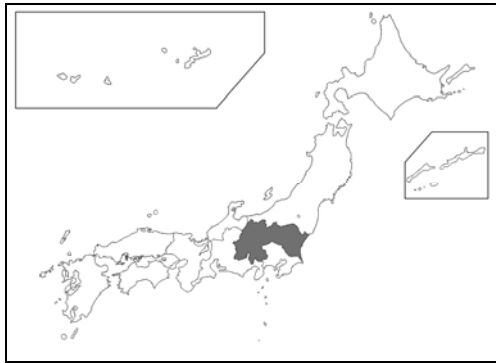


(3) 北 関 東



北関東地域では、景気は緩やかに回復しつつある。

- ・ 鉱工業生産は緩やかに増加している。
- ・ 個人消費は持ち直している。
- ・ 雇用情勢は改善している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す(_ は上方に変更、 _ は下方に変更)

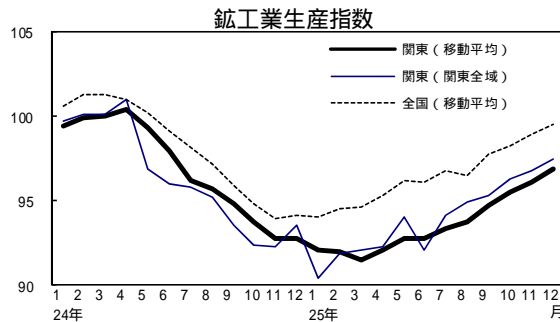
前回調査からの主要変更点

	前回(平成25年11月)	今回(平成26年2月)
景況判断	緩やかに持ち直し	緩やかに回復しつつある
鉱工業生産	持ち直しの動き	緩やかに増加
個人消費	緩やかに持ち直し	持ち直し
住宅建設	増加	大幅に増加
雇用情勢	改善の動き	改善

1. 生産及び企業動向

(1) 鉱工業生産は緩やかに増加している。(関東全域)

10～12月期には、輸送機械は、普通乗用車の新型車の生産が好調だったこと等から増加した。化学は、合成ゴムが好調だったこと等から増加した。電気機械は、中国向け電力変換装置が好調だったこと等から増加した。情報通信機械は、国内向けのデスクトップ型パソコン、はん用コンピュータが好調だったこと等から増加した。生産用機械は、国内向け半導体製造装置、米国や中国向けのプレス用金型が好調だったこと等から増加した。



域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比)(%)

	付加価値 ウェイト	生産				
		7～9 月期	10～12 月期	10月	11月	12月
輸送機械	18.6	5.4	5.2	0.0	3.0	1.2
化学	15.1	7.6	2.9	1.1	0.1	-
電気機械	9.3	3.9	4.1	7.9	1.3	1.9
情報通信機械	6.2	2.7	6.2	0.9	3.0	2.5
生産用機械	6.1	3.6	4.1	12.4	10.4	5.9
鉱工業	100.0	2.2	2.2	1.0	0.5	0.7

(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い15業種。

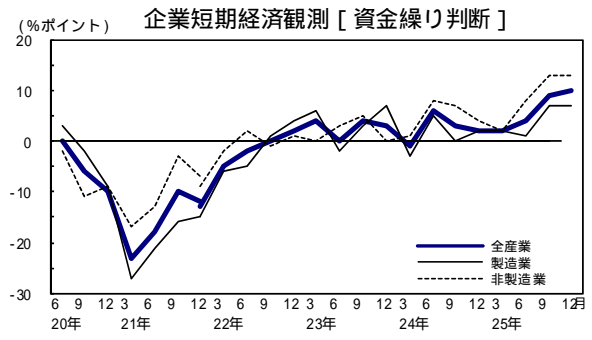
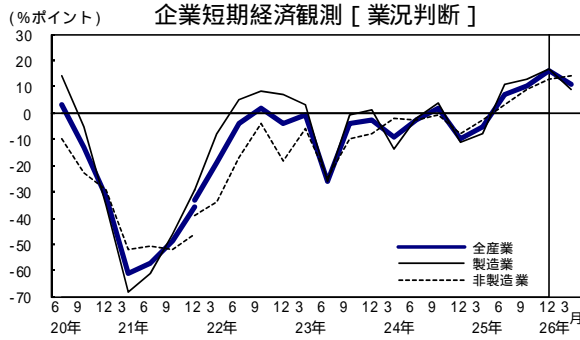
(備考) 1. 22年=100、季節調整値、最新月は速報値。

2. 全国及び関東の太線は後方3か月移動平均。

2. 10～12月期、12月は速報値。月別の化学は、速報値では公表されていない

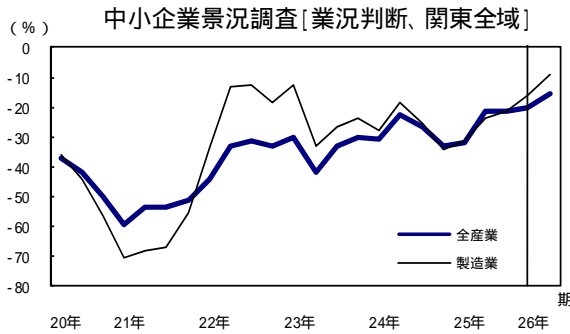
(2) 企業動向の業況判断は「良い」超幅が拡大し、資金繰り判断は「楽である」超幅が横ばいとなっている。

企業短期経済観測調査及び中小企業景況調査



(備考)「良い」-「悪い」回答者数構成比。26年3月は予測。
21年12月は新・旧基準を併記。
日本銀行前橋支店管内。

(備考)「楽である」-「苦しい」回答者数構成比。
21年12月は新・旧基準を併記。
日本銀行前橋支店管内。

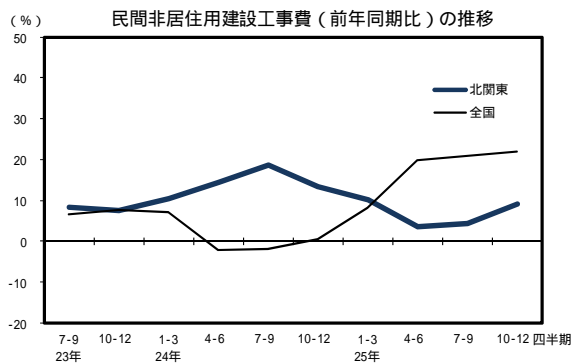


(備考)「好転」-「悪化」回答者数構成比。26年 期は見通し。

景気ウォッチャー調査(1月)[企業動向関連(現状)]

「業績が回復傾向にある取引先と相変わらず動きがない取引先とに明確に分かれてきている(一般機械器具製造業)」などの回答がみられた。

(3) 設備投資の民間非居住用建設工事は増加している。



企業短期経済観測調査 [設備投資(12月調査)]

(前年度比、%)

	24年度実績	25年度計画
全産業	3.0	1.4(0.1)
製造業	6.4	1.7(5.5)
非製造業	4.4	7.5 (11.4)

(備考)()は前回(9月)調査比修正率。

日本銀行前橋支店管内。

(3) 北関東

2. 需要の動向

(1) 個人消費は緩やかに持ち直している。

地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

10月は前月比0.6%減、11月は同1.1%増、12月は同0.2%減となった。

大型小売店販売額

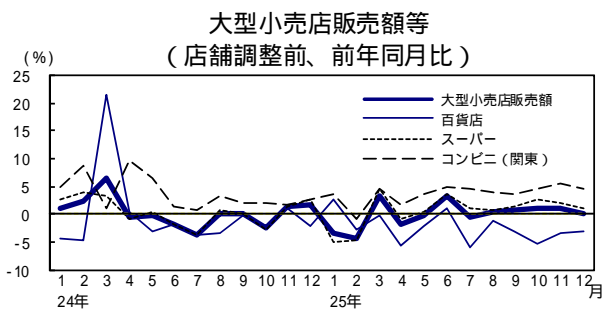
百貨店は、10月は、天候不順の影響等により婦人・子供服・洋品、飲食料品等が不調だったこと等から前年を下回った。11月は、婦人・子供服・洋品、飲食料品が不調だったこと等から前年を下回った。12月は、土曜日が前年より1日少なかったことや婦人・子供服・洋品、飲食料品等が低調だったこと等から前年を下回った。

スーパーは、主力の飲食料品が堅調だったこと等から前年を上回った。

景気ウォッチャー調査 (1月) [家計動向関連 (現状)]

北関東地域の家計動向関連DIは、50.4となり前月より1.3ポイント低下した。

「1月は新年会等で忙しいと思っていたが、全くの期待外れで売上は前年より2～3割悪く、お手上げであった(タクシー運転手)」など「悪くなっている」とする回答が増加した。

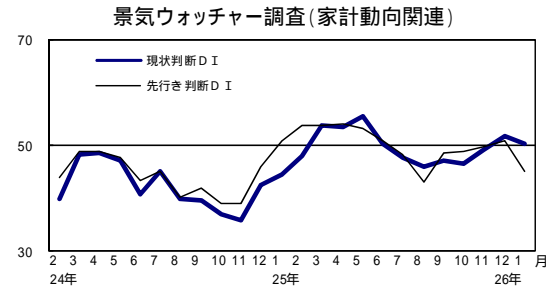
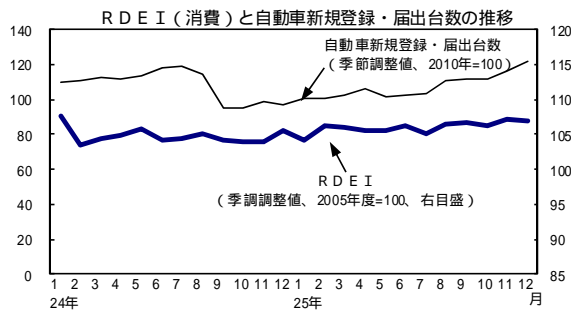


	25年10-12月	25年10月	11月	12月
RDEI (消費*1)	0.6	0.6	1.1	0.2
大型小売店(*2)	0.6	0.9	0.9	0.1
百貨店(*2)	3.9	5.4	3.5	3.2
スーパー(*2)	1.7	2.5	2.0	0.9
コンビニ(*2)	4.9	4.5	5.6	4.7
乗用車(*3)	19.3	16.1	15.1	27.7
(季節調整値)(*3)	7.5	0.3	4.0	4.6

(備考) 1. 季節調整済前期(月)比 (%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比 (%) (新潟、静岡を含む) コンビニは、関東全域

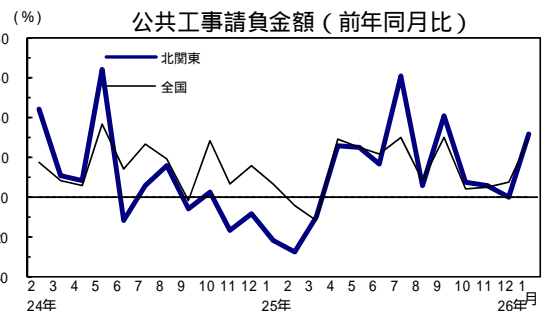
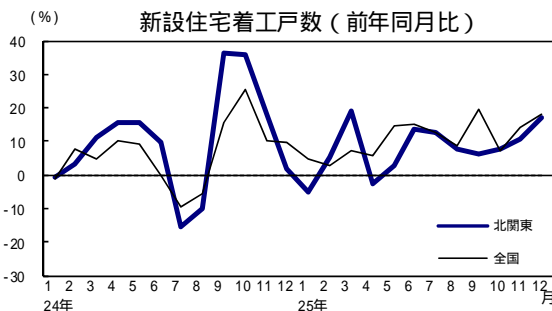
3. 乗用車は、新規登録・届出台数(上段は前年同期(月)比(%))



(2) 住宅建設は大幅に増加している。

貸家が前年を下回ったものの、持家、分譲が前年を上回ったことから、全体では大幅に増加している。

(3) 公共投資は25年度累計で見ると前年度を上回っている。

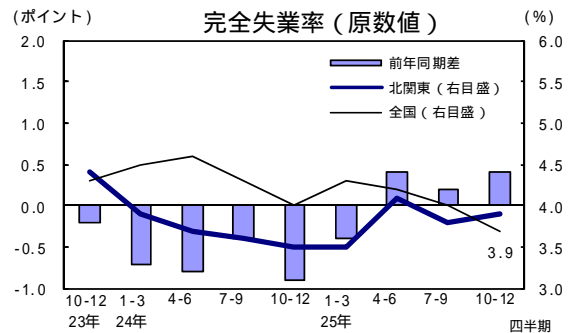
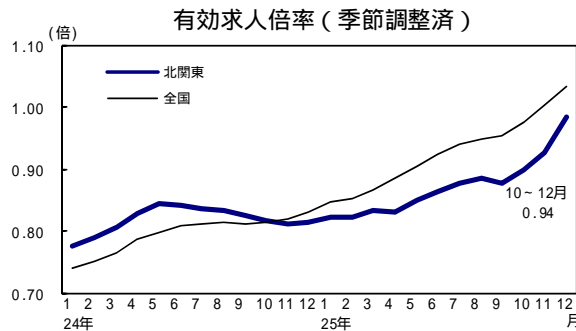


3. 雇用情勢等

(1) 雇用情勢は改善している。

有効求人倍率及び完全失業率

有効求人倍率は上昇している。完全失業率は前年同期を上回っている。



景気ウォッチャー調査（1月）[雇用関連（現状）]

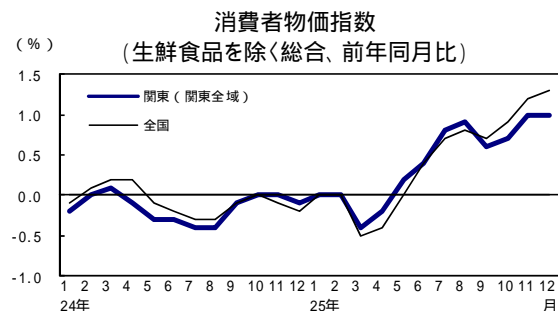
「機械関係は大型、小型自動車の生産要員としての募集が目立っている（人材派遣会社）」などの回答がみられた。

(2) 企業倒産は、件数、負債総額ともに減少している。

(3) 消費者物価指数は前年比の上昇幅が拡大している。

企業倒産

	（件、億円、％）				
	25年1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	26年1月
倒産件数	149	144	130	135	42
（前年比）	6.3	8.9	13.9	8.8	16.0
負債総額	423	350	289	230	63
（前年比）	6.8	30.4	3.4	17.0	30.8



景気ウォッチャー調査（1月）[合計（特徴的な判断理由）]

<現状>

・各メーカーとも高額品に動きがあり、総じて好調に推移している（食料品製造業）

<先行き>

・2、3月は消費税増税前の駆け込み需要で売上は伸びると思うが、4月以降はその反動減で若干のマイナスが続く。その先は何とも言えない（百貨店）

